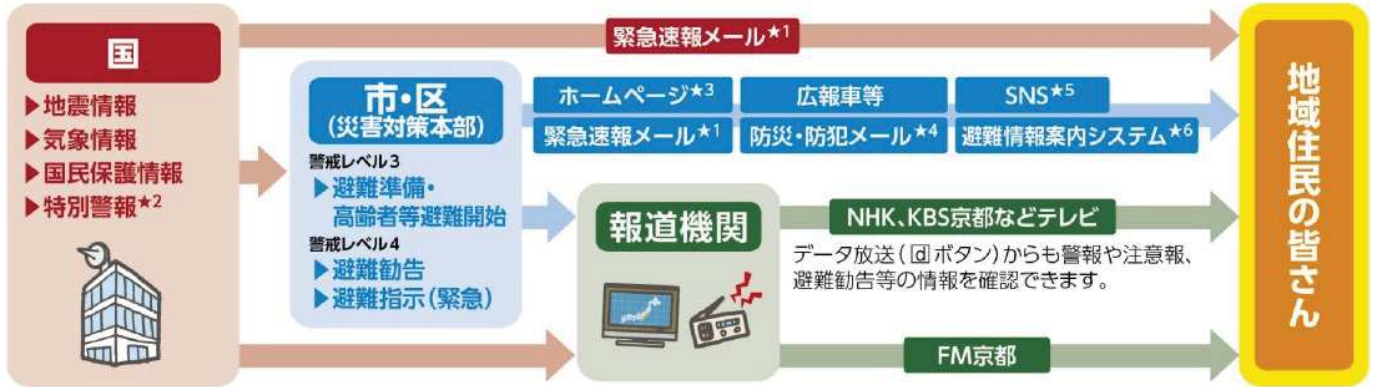


### 知識③ 避難勧告などの主な伝達方法を知りましょう



情報の入手方法を知っておくことが、非常時の大きな備えとなります。



- ★1:緊急速報メール 国や地方自治体が携帯電話(スマートフォンを含む)向けに災害・避難情報等を一斉メール送信するサービスです。対応機種や受信方法はご利用の携帯電話会社(NTTドコモ、au、ソフトバンク、Y!mobile)にご確認ください。
- ★2:特別警報 特別警報は警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等の現象に対して発表されます。「特別警報」が発表されたら直ちに身を守る行動をとってください。
- ★3:ホームページ 「京都市防災危機管理情報館」では、災害発生時の緊急情報のほか、災害の備えに役立つ情報を掲載しています。  
⇒<http://www.bousai-kyoto-city.jp/bousai/>
- ★4:防災・防犯メール 京都市が運用する防災・防犯情報メール配信システムです。避難情報、気象情報、地震情報などの緊急情報を受信できます。緊急速報メールを受信できない携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、ぜひ登録しましょう。
- ★5:SNS 京都市では、Facebook(フェイスブック)やTwitter(ツイッター)※1、LINE(ライン)※2で避難情報等の防災・危機管理に関する情報を発信しています。  
※1 アカウント名「京都市防災危機管理情報館」 ※2 アカウント名「京都市」
- ★6:避難情報案内システム (☎075-241-9901) お住いの郵便番号により避難勧告等の発令状況を案内します。



←登録はこちらから空メールを送信するとメールが返信され、京都市の情報を選択し登録すると、市内の情報を受信します。

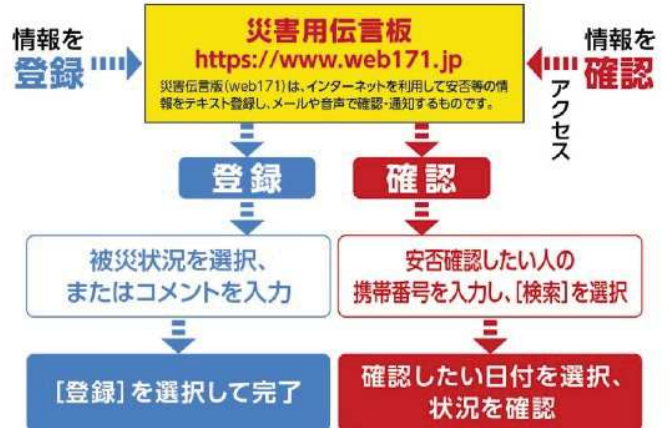
### 知識④ 災害時の連絡方法を確認しておきましょう

#### ☎ 災害用伝言ダイヤルの使い方



地震・台風などの大規模災害発生時には、被災地への通信が増加し、電話がつながりにくくなります。災害伝言ダイヤルは、このようなときに、被災地とその他の地域の方との間で「声の伝言板」(伝言の録音・再生)の役割を果たすシステムです。

#### ✉ 災害用伝言板(web171)の使い方(携帯電話から)



#### 毎月1回、家庭の防災会議を開こう

- 家の中で安全な場所はどこか
- 応急手当の知識を身につける
- 消火器具の置き場所の確認
- 火気器具などの安全点検
- 避難場所、避難道路の確認
- 家族の役割分担
- 万一の際、家族の連絡方法と集合場所
- 非常持出袋の点検、置き場所の確認



#### 普段から、隣近所の協力体制を



大地震が起きた場合、広い範囲にわたり大きな被害が発生することが予想されます。消防車や救急車は、すぐに来てくれるとは限りません。ですから、普段から町内会などを通じて地域の人たちと交流を図り、火災やケガ人が発生した場合の協力体制を作っておくことが大切です。